

を、入子望之もの有之段、長兵衛ニ申僞右娘ニ金子相添貰、孫兵衛發起ニ而、長兵衛と申合、右女子を捨子ニいたし、金子を分取、重々不届至極ニ付、獄門ニ相成候例ニ見合、源七儀、兩度迄捨候始末別而不届ニ付、捨子いたし候もの之御定をも見合、引廻し之上獄門と御仕置附仕候儀ニ有之、此度之儀ハ、捨子と違ひ、全く相對而已を以貰受候事ニ付、金子を添、捨子を貰、其子を捨候ものとハ、聊差別有之可然哉ニ付、右御仕置附之例ニ見合、存命ニ候ハ、獄門可申付處、病死いたし候間、其旨可存段、一件之もの江可申渡、

評議之通濟

〔草茅危言五〕捨子之事

一捨子ハ、町々ニ官命ヲ以テ、兼テ大切ニ致シ、マヅ早速捨ヒアゲ訴ヘ出、當分其家ヨリ養育シ、囉方ヲ町内ヨリトクト見届ケ、養育大抵金子四五金分相添遣シ、ソノ費用ハ町内總ワリニシ、サシタルコトニモ非ズ、タマサカノコトナレバ、難義ト云ホドニモナシ、然レドモ小兒ノ成長マデハ、病氣又疱瘡ナド届ケ來リ次第、ソノ家ヨリ追々合力イタシ、モシ又當分ニ病死ナドアレバ、官府ノ檢察ヲ乞ナド、色々世話モカヽリ、面倒ナルモノ故、毎度アリテハ迷惑ガルコトナリ、サテ貧民ハ手元ニテ育ツルヨリハ、大方宜シク片付ルコトヲシリ、スツル時サヘ見付テレザレバ、跡ニテ僉議モ咎メモナキコト故、ヨキコトニシテ、爭フテ捨ルハ憎ムベシ、又サシテ貪苦ニ迫ルニモアラデ、奸通出生ナド捨テロヲ消ヤウニスルコトモアリト見エテ、品ヨロシキ縫綑ナドヲ用タルモアリ、是ハ尙更憎ムベキモノ也、往歲サカニ捨タル時ニ、官命アリテ、以來ハ捨子ヲバ屠村ニ下サル、トノコトニテ、捨ヤミタルコトアリシ、今ハソノ法令モヤミタルニヤ、市中ノ取計ヒ已前ノ如クニナリタリ、コノゴロアラタニ號令アリテ、捨子ヲ又屠者非人ニ下サル、トノ命アリトモ聞タリ、イマダ實否ヲシラズ、何ブン屠村ノ令面白キヤウナレドモ、退テ考フルニ、捨ル者ニ